

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	平成25年度 第1回加東市健康増進計画策定委員会
開催日時	平成26年1月16日(木) 13時30分から15時00分まで
開催場所	社児童館やしろこどものいえ 多目的室
議長の氏名 (坂本泰三)	
出席委員の氏名	坂本泰三 藤原秀夫 山崎富子 谷口尚 松尾美智子 白井律夫 大久保知子 糟谷早苗 石田真由子 藤本正紀 黒崎みどり 藤本しげる
欠席委員の氏名	鬼頭英明
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	(市長)安田正義 (市民安全部長)阿江孝仁 健康課 (課長)二木佳子、(副課長)肥田繁樹、(主幹)大末美佳、(主幹)芹生祥子 (主査)下崎ユカ
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付 市長より委員を代表して坂本委員に委嘱状を交付した。</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 策定委員会役員選出 役員選出にあたり委員自己紹介 委員長に鬼頭委員(欠席)、副委員長に坂本委員が推薦される。 挙手により全委員が承認</p> <p>5 諮問 安田市長から坂本副委員長へ諮問文を手交</p> <p>6 議事 加東市健康増進計画第1回委員会資料により事務局から説明を行った。</p> <p>(1) 加東市健康増進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市健康増進計画策定にあたって現計画と今後の計画の概要について説明 ・市民アンケートを無作為抽出で20～65歳未満2,000名と6歳未満の保護者1,000名を対象に平成25年12月に実施し現在回収中。

(2) 策定スケジュールについて

・第2回3月の委員会でアンケート集計結果報告

【質疑応答・意見交換】

委員：アンケート調査について65歳でボーダラインを引いてある理由を説明してほしい。

事務局：65歳以上の方については、高齢介護課の高齢者保健福祉計画に基づいて検討し、子どもから生涯を通じての計画を策定していく。

委員：高齢者保健福祉計画は策定済か、策定の途中なのか。

事務局：計画の見直しを進めているところである。

委員：アンケート対象が、20～65歳未満と6歳未満の保護者であるとのことですが、学齢期の子どもについては学校に協力をしてもらって、子ども自身にアンケートをとることができれば、子どもが自分の暮らしを振り返ることができ良いのではないかと思います。

事務局：学齢期の子どもについては、アンケートのみで結果の評価をするのではなく、教育委員会が行ったアンケートなどより必要な部分のデータ（資料）を活用すること考えている。

委員：抽出でアンケートするのは良いが、学齢期の子ども全員がアンケートを記入することによって生活を振り返ることが大事かと思う。

事務局：アンケートを記入することを通して生活を振り返ることは大事なので、今後ご意見を取り入れたい。

議長：前回の計画には学童期の結果もあるが。

事務局：食育推進計画の一環で栄養・食生活の部分で学齢期のデータがある。前回は、国民栄養調査の結果を県担当課より、また必要に応じて教育委員会よりデータ提供してもらった。

議長：学童期の指導は生活習慣病予防にとっても大事。大人になってからでは改善しない。生活習慣病対策の栄養については、学童期を入れることを検討するとよい。

議長：栄養関係の方が多いので、食育に関する意見はありますか。

委員：生活習慣病を防ぐためにはどうすればよいのか、健康になるため学童期に健康への意識が根付く目標を。朝食がパン1個だけでも食べていることになるので、食べているかないかだけでなく、内容の改善につながる目標が必要だと思う。

委員：県西播磨健康福祉事務所に在職していた時に県の計画を策定した。現在は小学1年の孫を通し、食習慣を子どものころからしつけることの大切さを感じている。

保育園から食生活を正しくしていき、家庭や学校でも教えていくことが必要。

議長：地域差を感じられる事はありますか。

委員：地域差については具体的なことはわからないが、市町単位の活動に保健所が入ること
で効果があがる。

議長：歯の健康について意見をお伺いしたい。

委員：歯の健康にもよく噛んで食べることは大切。虫歯は減少しており問題はないが、肥
満がふえている。過食拒食が問題。

情報を得る方法がTVやインターネットになっているが、本タイプの読んでいける情
報誌を作っていければ良いと思う。

委員：健康づくりに携わって2年目であるが、生活習慣病をメインテーマに過剰な飲酒、
日常生活の改善に取り組めればと思う。

委員：太っている痩せているで、メタボというわけではないのか。

議長：基準の腹囲が定められているが、メタボと腹囲は関係ない。体重が100kgでもメ
タボでない人はある。皮下、内臓のどこに脂肪があるかによる。病気の素因を持ってい
る人は要注意。素因がなければ生活習慣病になりにくい。健診の数値ではわかりづらい。

委員：血液検査でわかるのか。

議長：血液検査、体重等から推測することはできる。値が低いことに、こしたことはない。

委員：いずみ会では主に食育活動をしており、幼児期については市内保育所を中心に「早
寝早起き朝ごはん」「食品の赤黄緑（栄養バランス）」「歯みがき」等について食育を行
っている。小さい頃から聞いていれば自分で考えるようになる。小中高生期に指導をす
る機会はあるのか。

事務局：小学生には、チャレンジスクール等で関わりがある時に食育の話をしている。
学齢期へ市より直接指導はしていないが、食育推進委員会等により教諭や教育委員会と
連携している。

議長：病院へ特定健診のみを受けにこられる方もある。特定健診はメタボ健診であり、一
般の健診とは異なる。特定健診を受けたら大丈夫と誤解されている方がある。

また、病気で常に受診している方は検査データがあるのに、特定健診を受ける必要があ
るのか。市民には、そのあたりがわかるように説明していただきたい。

委員：加東市はサンサンチャレンジに力を入れているが、禁煙についても具体的な成果、
事例を大事にしていき、成果目標も必要である。

議長：4万人のこじんまりとした市なので、細やかな評価を含め独自性のあるものを策定
できたら良いと思う。

委員：外出せず家に籠っている年配者のため、健康について冊子のような読む物が欲しい。
情報を得るのがTVしかないので、地域の活動内容や他の方々の事がわかるものがあれ
ばよいと思う。

7 次回の策定委員会： 3月6日（木）

8 その他

事務局より平成26年度まちぐるみ総合健診及びこころの体温計について説明

9 閉会

26年3月6日

議長

~~坂本泰三~~
署名人 藤原秀夫

署名人 山崎富子

